モラヴィエツキ政権 閣僚の顔ぶれ

令和２年１０月１９日

マテウシュ・モラヴィエツキ首相兼デジタル化大臣（Mr. Mateusz Morawiecki）	
	1968年6月20日ヴロツワフ生。1992年ヴロツワフ大学歴史学部卒（修士号）。1995年ヴロツワフ経済大学卒（経営修士号）。学生時代に反体制運動に関与。出版、コンサルタント、銀行勤務を経て、欧州統合委員会事務局にてポーランドの EU 加盟条件の交渉を担当。1998年から BZ 銀行に入り、2007年～15年まで BZ・WBK 銀行総裁。1998年～2002年にはドルノシロンスク県議会議員も務める。2010年にトゥスク首相（当時）の経済評議会メンバーに就任。2015年～2017年12月まで副首相兼開発大臣（2016年9月より財務大臣を兼務）。2017年12月に首相に就任し、2019年11月に再任。2020年10月よりデジタル化大臣を兼務。
ヤロスワフ・カチンスキ副首相（Dr. Jarosław Kaczyński）	
	1949年6月18日ワルシャワ生。1971年ワルシャワ大学法・行政学部卒（修士号）。1976年法学博士号取得。1960年代から反体制運動に関与し、「連帯」運動にも参加。体制転換後は政界のキャリアを積み、1989年～91年に上院議員、1991年～93年及び1997年以降は下院議員を務め、2006年～07年には首相を務めた。2001年より現与党「法と正義」（PiS）党首。2010年のスモレンスク大統領機墜落事故で亡くなったレフ・カチンスキ元大統領の双子の兄。
ピオトル・グリンスキ副首相兼文化・国家遺産・スポーツ大臣（Prof. Piotr Gliński）	
	1954年4月20日ワルシャワ生。1978年ワルシャワ大学経済学研究所・社会学研究所卒（修士号）。1984年博士号取得。2008年教授資格取得。長年にわたりポーランド科学アカデミー（PAN）にて研究者・教育者として活躍し、国内外の様々な大学でも教鞭を握る。2010年にカチンスキ大統領（当時）に国家発展評議会メンバーに任命されて以降、「法と正義」（PiS）と協力関係を深め、同党が提出した2回の内閣不信任案において首相候補となる。2015年総選挙で下院初当選。2015年11月より副首相兼文化・国家遺産大臣を務め、2020年10月の内閣改造に伴う省庁再編により現職。
ヤツェク・サシン副首相兼国有財産大臣（Mr. Jacek Sasin）	
	1969年11月6日ワルシャワ生。1998年ワルシャワ大学歴史学部卒業。2006年～07年にマゾヴィエツキエ県地方筆頭副長官及び地方長官、2007年～10年まで、レフ・カチンスキ大統領の下で大統領顧問や大統領府副長官を務めた。2010年にマゾヴィエツキエ県議会議員に当選。2011年からは下院議員を務め、現在3期目。2018年１月に首相府副大臣兼閣僚評議会常設委員長に任命。2019年6月より副首相。同年11月より新設された国有財産大臣を兼務。
ヤロスワフ・ゴヴィン副首相兼開発・労働・技術大臣（Dr. Jarosław Gowin）	
	1961年12月4日クラクフ生。1985年ヤギェロン大学卒業（修士号，哲学史）。2001年ポーランド科学アカデミー（PAN）にて博士号取得。クラクフ教育大学及び出版社等の勤務を経て，2005年～07年に上院議員（市民プラットフォーム（PO）），07年～現在まで下院議員（4期連続，13年まで PO，その後「J.ゴヴィンのポーランドと共に」（現「合意」）を設立）。2011年～13年まで法務大臣を務める。2015年総選挙は「法と正義」（PiS）のリストから下院議員に出馬して当選。2015年～2020年4月まで副首相兼科学・高等教育大臣を務めた。2020年10月の内閣改造で再入閣し、現職。

マリウシュ・カミンスキ内務・行政大臣兼特殊機関調整担当大臣（Mr. Mariusz Kamiński）	
	1965年9月25日ソハチェフ（マゾヴィエツキエ県）生。ワルシャワ大学歴史学部卒（修士号）。1980年代に反体制運動に従事。1997年～2006年、2011年～現在まで下院議員（計5期、2001年～06年、11年から現在まで「法と正義」（PiS）所属）。2006年～09年に反汚職庁長官を務める。2015年より特殊機関調整担当大臣を務め、2019年8月より内務・行政大臣兼務。「法と正義」副党首。
ズビグニェフ・ラウ外務大臣（Prof. Zbigniew Rau）	
	1955年2月3日ウッチ生。1977年にウッチ大学法・行政学部を卒業、1982年に同学部で法学博士号を取得し、2005年には教授資格を取得している。ウッチ大学に勤める一方で、政治家としては、上院議員（2005～2007年、「法と正義」（PiS）所属）、ウツキエ県地方長官（2015～2019年）、下院議員（2019年～現在）を務めている。今次会期では2019年11月～2020年8月まで下院外務委員会委員長を務めた。2020年8月より現職。
マリウシュ・ブワシュチャク国防大臣（Mr. Mariusz Błaszczak）	
	1969年9月19日レギオノヴォ（マゾヴィエツキエ県）生。1994年ワルシャワ大学歴史学部卒業（修士号）。地方自治体等勤務を経て2005年～07年に首相府長官に就任し、07年には無任所大臣も務める。2007年総選挙で下院（「法と正義」（PiS））に初当選し、その後3期連続で下院議員。2010年～15年11月までPiSの下院院内総務を務める。2015年11月～2018年1月まで内務・行政大臣を務め、同年1月より現職。「法と正義」副党首。
ズビグニェフ・ジョブロ法務大臣（Mr. Zbigniew Ziobro）	
	1970年8月18日クラクフ生。1994年ヤギェロン大学法行政学部卒（修士号）。税監査局、内務・行政大臣顧問等を経て2001年に法務次官を務め、カチンスキ法相（当時）の側近として活躍。2001年に「法と正義」（PiS）設立に貢献し、同年から下院議員を4期務める。2005年～07年に法務大臣兼検事総長。2011年にPiSから離れ、「連帯ポーランド」を設立し党首に就任。2015年総選挙ではPiSのリストから出馬し当選。2015年11月より現職。
タデウシュ・コシチンスキ財務・基金・地域政策大臣（Mr. Tadeusz Kościński）	
	1956年12月9日ロンドン生。1977年英国ロンドン・ゴールドスミス大学卒業。金融・銀行業界での勤務を経て、2015年11月より開発次官を務め、2018年1月より企業・技術副大臣としてデジタル経済・輸出政策を担当。2019年7月に財務次官に就任。同年11月より財務大臣に昇任し、2020年10月の内閣改造に伴う省庁再編により現職。
プシェミスワフ・チャルネク教育・科学大臣（Dr. Przemysław Czarnek）	
	1977年6月11日コウォ（ヴィエルコポルスキエ県）生。2001年ルブリン・カトリック大学法学部卒。同大学にて2006年に博士号（憲法学）、2015年に准教授資格を取得。ルブリン・カトリック大学をはじめ、複数の大学で教鞭をとる。2015年～19年にルベルスキエ県地方長官を務め、2019年に下院議員に初当選。2020年10月より現職。

マルレナ・マロング家族・社会政策大臣（Ms. Marlena Maląg）	
	1964年11月2日オストルフ・ヴィエルコポルスキ生。チェンストホヴァ教育大学を卒業後、教師としてオストルフ・ヴィエルコポルスキ市内の学校にて勤務。2002年に同市議会議員、2006年に同郡議会議員に当選。2012年～2014年にはオストルフ・ヴィエルコポルスキ副市長、2016年～2018年にはヴィエルコポルスキエ県副県知事を務め、2018年に同県議会議員に当選。2019年の下院選挙に当選し、同年11月に家族・労働・社会政策大臣に就任。2020年10月の内閣改造に伴う省庁再編により現職。
グジェゴシュ・プダ農業・農村開発大臣（Mr. Grzegorz Puda）	
	1982年7月13日ビェルスコ・ビャワ（シロンスキエ県）生。2006年クラクフ農業大学卒。民間企業の幹部や地方自治体の調整官を務めながら、2006年～2015年までビェルスコ・ビャワ市議会議員を務め、2015年に下院選挙で初当選。2019年7月に投資・開発副大臣に就任し、同年11月の機構再編後は基金・地域政策副大臣を務めた。2020年10月より現職。
アンジェイ・アダムチク・インフラ大臣（Mr. Andrzej Adamczyk）	
	1959年1月4日クシェショヴィツェ（マウォポルスキエ県）生。1979年クシェショヴィツェ建設学校卒（その後学位取得）。クラクフ市議会議員を経て、2005年から4期連続で下院議員（「法と正義」（PiS）所属）。2015年～2018年1月までインフラ・建設大臣を務め、同年1月より現職。
アダム・ニェジェルスキ保健大臣（Dr. Adam Niedzielski）	
	1973年11月19日生。ワルシャワ経済大学を卒業し、2003年にポーランド科学アカデミーで経済学博士号を取得。財務省、最高監査院、法務省、社会保険庁で勤務の後、財務省事務局長（2016－2018年）を務めた。2018年に国民健康基金（NFZ）副長官に就任し、2019年よりNFZ長官を務めている。2020年8月より現職。
ミハウ・クルティカ気候・環境大臣（Dr. Michał Kurtyka）	
	1973年7月20日カトヴィツェ生。仏エコール・ポリテクニク、ワルシャワ経済大学卒業。2012年にワルシャワ大学にて経済博士号を取得。エネルギー関連会社での勤務を経て、2016年1月にエネルギー省次官、2018年4月に同副大臣に就任し、エネルギー分野の技術開発、イノベーション等を担当。同年7月に環境副大臣に就任し、同年12月にカトヴィツェで開催されたCOP24の議長を務めた。2019年11月、新設された気候省の大臣に就任し、2020年10月の内閣改造に伴う省庁再編により現職。
ミハウ・ドヴォルチク首相府長官（大臣）（Mr. Michał Dworczyk）	
	1975年7月22日ワルシャワ生。ワルシャワ大学歴史研究所卒。ワルシャワ中央区議会議員、ワルシャワ市議会議員を経て、2014年にマゾヴィエツキエ県議会議員に当選。2008年～10年にはレフ・カチンスキ大統領の下で大統領顧問を務めた。2015年に下院議員に繰り上げ当選し、同年の議会選挙で再選。2017年3月～12月まで国防副大臣を務めた後、同年12月に首相府長官に任命され、2019年6月、首相府大臣に昇任。

コンラド・シマンスキＥＵ問題担当大臣（Mr. Konrad Szymański）	
	1969年12月6日カリシュ（ヴィエルコポルスキエ県）生。アダム・ミツキエヴィチ大学法学部卒。地方自治体、下院事務局、メディア等での勤務を経て、2004年～2014年まで欧州議員を務めた欧州問題の専門家。2015年11月に外務副大臣に就任してEU問題を担当し、EU総務理事会ではポーランド政府の代表を務めている。2019年11月の省庁再編により、EU部門が外務省から首相府に移管され、これに伴いEU問題担当大臣に就任。
ウカシュ・シュライベル首相府大臣（Mr. Łukasz Schreiber）	
	1987年5月26日ビドゴシチ生。ビドゴシチ・カジミエシュ・ヴィエルキ大学卒業。2014年にビドゴシチ市議会議員、2015年に下院議員に当選。2018年11月、国会問題を担当する首相府副大臣に就任し、内閣常設委員会副委員長を兼務。2019年11月に首相府大臣に昇任し、内閣常設委員会委員長を兼務。
ミハウ・チェシラク首相府大臣（Mr. Michał Cześlak）	
	1974年12月9日ドンブロヴァ・タルノフスカ（マウォポルスキエ県）生。2001年H. コウォンタイ記念クラクフ農業大学卒。民間部門での勤務及びコンサル会社の起業を経て、2008年より全国農業会議所評議会にて勤務し、2011年～15年にシフィエントクシスキエ群農業会議所評議会代表を務めた。2015年の下院選挙で初当選し、2020年10月より現職。
ミハウ・ヴイチク首相府大臣（Dr. Michał Wójcik）	
	1971年4月17日クラクフ生。1994年シロンスク大学法・行政学部卒。2017年同大学社会科学部にて博士号取得。2002年～05年、2010年～15年にシロンスキエ県議会議員、2005年～07年及び2015年以降は下院議員を務めている。2016年4月に法務副大臣に就任し、2020年10月より現職。